

宮城県丸森町 JOIN記事作成用

1. 募集タイトル

舟下りの魅力を発信するSNSクリエイター募集！



2. 募集概要

宮城県最南端の『丸森町』について、みなさんはどのくらいご存知ですか？

仙台から車で約1.5時間、電車で約1時間

福島から車で約1時間、電車で約50分

週末にふらりとドライブやお出かけをするにはちょうどいい、そんな距離感の町である丸森町。

実は——

猫碑をはじめとした動物の石碑が町内に多く点在しており、町をぐりと探索すると、1日なんてあっという間に過ぎてしまう、そんな町なんです。

協力隊のチャレンジを応援する体制が充実しており、多くの協力隊OB・OGが定住し、今も町で活動しています。

そして、そして。

阿武隈川の四季折々の美しい風景や、船頭さんの温かな人柄と軽妙な語りが織りなす、情緒豊かな体験ができる「舟下り」が魅力の町でもあります。

——ということ、ご存知でしたか？

魅力の一つである「舟下り」には、

春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬はこたつに入って川を下る「こたつ舟」など、訪れるたびに違う表情と特別な楽しみがあります。

川面に映る絶景はもちろん、地域の文化や船頭さんの温かな語りといった、「一見では伝わりにくい深み」こそが魅力なのですが……

丸森町を訪れる人にも、まだ訪れたことのない人たちにも、十分には知られていないのが現状です。

さらに、舟下りの伝統を支える船頭さんの高齢化が進み、将来の担い手不足という、伝統継承の課題も抱えています。

そこで、写真や動画を通じて舟下りの感動をSNSで届けながら、その秘められた価値を深掘りし、全国的な認知度を高めていく地域おこし協力隊を募集します！！

あなたの発信がきっかけとなり、丸森町に人が訪れる。
その人たちが舟下りを体験する。
それにより、丸森町の魅力に触れ、町全体の観光が賑わっていく。
そのお手伝いをさせていただきます。

また、より多くの人に「舟下り」を知っていただくことで、「自分もこの伝統に関わってみたい」と思う新しい仲間——すなわち未来の担い手を呼び込むことにもつながるかもしれません。観光の賑わいと伝統の継承、その両方を未来へつなげる、やりがいのある役割です。

丸森町では、令和8年度に令和元年東日本台風からの復興の歩みを象徴する、新たな観光の拠点として「MIZBEステーション」が誕生します。
それに伴い、舟下りの船着場も新たに整備され、観光の中心拠点のひとつとなります。

復興の未来への希望を乗せて進む舟下りを、あなたの発信で一緒に盛り上げ、この伝統と希望を未来へつなげていきませんか。

<https://abukuma-line.jp/>



3.仕事の中身は？

■ 1年目

「最初の半年は“知る期間”です」地域を知り、舟下りの魅力に触れていきましょう！

●挨拶まわりと観光の魅力ヒアリング

丸森町には舟下りをはじめとして、さまざまな観光スポットがあります。舟下りの運営も行う受入先のスタッフや町の商工観光課職員と一緒に地域を巡り、関係団体を訪問して挨拶まわりをします。挨拶するとともに、丸森町の観光の魅力についても話を聞くことで、観光情報発信を担当する立場として、顔と名前を覚えてもらいましょう。

●舟下りの現場理解とネタ収集（毎日1回 11:30～12:40）

今回の情報発信のメインピックは「舟下り」です。舟下りの乗船体験を通じて、ルートや見どころ、各船頭さんの語りやそれぞれの特技などの情報を文章にまとめていきます。

現場理解と同時に、何度か舟下りを体験しながら、情報発信のネタを集めていきます。また、乗船者へのヒアリングやアンケート収集を行い、舟下りを経験した方のリアルな声も集めていきましょう（面白いと感じたこと、リピート意向、改善してほしいと感じていることなど）。

●町内イベントの取材・補助等

情報発信のメインピックは舟下りですが、舟下りは丸森町の観光資源の一つであり、町全体の観光が活性化することが、舟下りの認知度拡大にもつながります。

情報発信では町内イベントや観光情報もあわせて発信していくため、イベント開催時には取材や運営補助を行いながら、イベント情報も発信していきます。

【目標】

関係団体や地域のキーパーソンを訪問し、受入先の仕事やその関係団体を知ることが目標に活動します。

「残りの半年から、情報発信、本格始動！」半年間で集めた情報をもとに、観光・舟下りの魅力を発信していきましょう！

観光案内所のInstagramアカウントを活用し、観光情報と舟下り情報を発信していきます。

毎日1回のストーリー投稿、週1回のフィード投稿、月2回のリール投稿を行い、まずはフォロワー+500人を目指します。

●発信内容

- ・丸森町のイベント情報
 - ・旬の観光スポット情報
 - ・舟下りの運行情報（船頭）、船頭情報（船頭紹介・おすすめポイント）、
毎月の舟下りの見どころ情報（見る場所のポイント、気温・気候情報）、予約・アクセス情報
 - ・地域外観光イベント出展情報
- 前半の半年間に引き続き、舟下りの乗船体験を通じて現場理解を深めます。
また、情報発信を行う上で船頭さんとの関係構築は重要です。仕事を通してたくさん話をし、仲良くなっていきましょう。会話の内容が情報発信のネタ集めにもつながるはずです。

- ・観光公社、地域行事の支援 等

地域行事への参加や船頭さんとの交流を通して、地域住民や関係者との良好な関係構築を行うことに重きを置いた活動を行います。

舟下りを中心とした町内観光情報を、常に発信している状態にすることを目標に活動します。

■ 2～3年目

1年目から引き続き、Instagramでの情報発信（ストーリーズ：毎日1回、フィード投稿：月1回）を行っていきます。

目標フォロワー数は、2年目に+1,000人、3年目に+2,000人です。

また情報発信のネタ探しのために、舟下りの現場理解とネタ収集や町内イベントの取材、地域行事のお手伝いも継続して行います。

加えて、2年目は、Instagramのリール投稿で利用できる「舟下りの四季ごとの魅力を伝える動画」を、各季節1本ずつ作成します。

また毎月Googleの口コミを集計し、いつ・どのような内容の口コミがあったかをレポートにまとめます。

2年目後半には、お客さまの声を反映し、こたつ舟のような舟下りイベントを1つ企画・1回実施することにチャレンジしましょう。

3年目には、2年目に実施した舟下りイベントをブラッシュアップし、企画を検討・実施していきます。

また、活動の集大成として、船頭募集のための動画作成にもチャレンジしていただきます。

3年目の終わりには、地域おこし協力隊の成果を報告会で発表します。

【3年後の可能性】

- ・一般財団法人丸森町観光物産振興公社（観光案内所など）のスタッフとして就職
- ・丸森町役場の職員として就職
- ・町内の民間企業（観光・まちづくり関連など）への就職
- ・フリーランスのSNS・映像クリエイターとして独立し、役場や町内企業から業務を委託
- ・丸森町内で新たに事業を立ち上げ

※あくまで一例であり、ご自身の希望と適性に応じて様々な可能性があります。

< 1 週間の流れ（イメージ） >

	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8：30	活動開始	活動開始	活動開始	イベント出店	活動開始
～10：55	Instagram、Google口コミチェック及びストーリーズ投稿	Instagram、Google口コミチェック及びストーリーズ投稿	Instagram、Google口コミチェック及びストーリーズ投稿		Instagram、Google口コミチェック及びストーリーズ投稿
～11：10	乗船者アンケート・インタビュー対応	乗船者アンケート・インタビュー対応	乗船者アンケート・インタビュー対応		乗船者アンケート・インタビュー対応
～11：30	出航準備	出航準備	出航準備		出航準備
11：30～12：40	舟下り体験	舟下り体験	舟下り体験		舟下り体験
12：40～13：40	お昼休憩	お昼休憩	お昼休憩		お昼休憩
～16：00	Instagram投稿準備	Google口コミ分析・イベント企画	Instagram投稿準備		Instagram投稿準備
	役場担当者との月次面談	地域のイベント取材・手伝い	Instagram投稿		Google口コミ分析・イベント企画
	Google口コミ分析・イベント企画		週間打合せ		
16：00～	日報記入	日報記入	日報記入		日報記入
17：00	活動終了	活動終了	活動終了		活動終了

※月曜日、火曜日は休暇

4. 丸森町で働くおすすめポイント！

- ・「行ってみたい！」を生み出せるやりがいがある！
あなたの発信ひとつで、お客様が増え、町の観光が動き出します！
- ・自然と人の魅力を同時に伝えられる！
阿武隈川の四季の絶景やこたつ舟などの季節企画、船頭さんの語りや人柄も発信の素材です。
- ・観光拠点の新しいスタートに関われる！
MIZBEステーションへの移転で舟下りは新たな観光の中心に。成長期に立ち会える貴重な経験です！
- ・未来へとつながる活動ができます！
多くの人を呼び込むことで町ににぎわい、やがて船頭候補となる人が現れるかもしれません。
観光の未来を広げる力になります
- ・実践的なデジタルマーケティング能力の向上
写真や動画の撮影・編集スキルはもちろん、「どうすれば人が動くか」を考え抜く、SNS運用・Web発信の企画力、分析力が向上します！

- ・コミュニケーション能力の向上
船頭さんや地域住民との連携、観光客へのヒアリングなどを通じて、異なる世代や立場の人の心を開く高いコミュニケーション能力が磨かれます！
- ・船頭免許の取得を目指せる！
希望すれば、地域に根差した伝統技術と安全知識を学び、小型船舶操縦士（船頭）の免許取得に挑戦できます。地域文化の継承に貢献する確かな資格とスキルが身につきます！

こんな方におすすめ

◎必須スキル

- ・笑顔で元気に挨拶ができ、積極的に地域住民やスタッフとコミュニケーションが図れる方
- ・心身ともに健康で、上記事業内容に対して、熱意を持って取り組むことができる方
- ・普通自動車運転免許を有し、パソコンの一般的な操作（Word・Excel）ができる方
- ・状況の変化に柔軟に対応でき、関係者と協力して行動できる方
- ・デジタル・SNSでの発信経験がある方

◎歓迎スキル

- ・写真や動画の撮影・編集に興味がある方
- ・観光業や接客業での業務経験がある方
- ・自ら課題を見つけ、解決に向けて行動するのが好きな方
- ・企画立案やイベント運営の経験のある方
- ・自然や体を動かすことが好きな方
- ・地域の文化や歴史に関心があり、それを伝えることに熱意のある方

◎求める人物像

- ・地方活性化に志を持ち、ひとつひとつの活動を楽しめる方
- ・自ら志を持って行動し、成長しようと前向きに取り組める方
- ・日々変化する状況に柔軟性を持って対応できる方
- ・学び続けることを当たり前になり、成長が幸せにつながる方
- ・地域課題や目の前の課題を丁寧に分析して、真摯に向き合い、解決に導ける方
- ・ベテランの船頭さんや地域の方々の話に耳を傾け、世代を超えたコミュニケーションを大切にできる方
- ・日常の何気ない風景や出来事の中から「ここが面白い！」「素敵！」という魅力の種を見つけ出すことが得意な方
- ・阿武隈川の自然や四季の変化を肌で楽しみ、その感動を「誰かに伝えたい」と素直に思える方
- ・舟下りという丸森町の大切な伝統を、自分の発信で未来の担い手へ繋げていくことにワクワクできる方

5.一緒に働く人

【観光班長 伊藤からメッセージ】

「阿武隈川の魅力、あなたの『好き』で一緒に見つけていきましょう！」



丸森町の舟下り、最初は「ただの川下り？」と思うかもしれません。私も関わり始めた頃はたくさんの「？」がありましたが、四季の絶景、そして舟下りを支える船頭さんたちの温かい人柄に触れるうち、ここが丸森町の大切な『物語』の舞台なのだと肌で感じるようになりました。この感動は無限大ですが、まだ全国に届けきれていません。だからこそ、私たちはあなたの新鮮な視点が必要です。舟下り現場の関係者と一緒に悩み、試行錯誤しながら、あなたの「好き」を活かした発信で魅力を広げていきましょう！

あなたの活動は、舟下りや町の観光を明るくする「きっかけ」になります。丸森町の豊かな自然と温かい人々に囲まれて、私たちと一緒にこの楽しい挑戦を始めませんか？

観光班一同、あなたという新しい仲間と出会えることを心から楽しみにしています！

一般財団法人 丸森町観光物産振興公社

【横山理事長からのメッセージ】

私たちは、一般財団法人丸森町観光物産振興公社です。東北第二の大河、阿武隈川で宮城県内唯一の舟下り「阿武隈ライン舟下り」の観光船事業（船頭4人）、丸森町内のお土産品の販売等事業（事務職員兼務3人）、観光物産振興事業、旅行業事業（併せて5人）を行い、日々お客様とのコミュニケーションを大切にして仕事をしています。

阿武隈川ライン舟下りは、春は桜、夏の新緑、秋の紅葉や星空、冬のこたつ舟と、季節ごとに違う表現を見せてくれる、丸森町ならではの体験です。舟の上で感じる風や川の音、船頭の語りは、何度乗っても新しい発見があります。

こうした舟下りの魅力は、本当にいいものだからこそ、しっかりと伝えていきたいと考えています。そのためにこれからはSNSでの発信がとても重要です。写真や動画一つひとつが「行ってみたい」「乗ってみたい」という気持ちを生み出すきっかけになります。

発信する仕事は楽しい一方で、地域の人や舟下りに関わる人たちと向き合い、丁寧に伝えていく姿勢も大切になります。実際の現場を見て、感じて、言葉や映像にする。その積み重ねが、少しずつ舟下りファンを増やしていきます。

「自分にできるかな」と思う方もいるかもしれませんが、真剣に向き合ってみたいという気持ちがあれば大丈夫です。舟下りや人、自然に関心のある方と、一緒に取り組んでいけたら嬉しいです。

少しでも「やってもいいかな」と感じた方は、ぜひチャレンジしてみてください。

舟下りの現場で、そして丸森町で、お会いできるのを楽しみに待っています。





【船頭からのメッセージ】

四季折々の風景が楽しめる阿武隈川は、長い間重要な物資の輸送航路として利用され、古くは年貢米や木材・木炭・石材などの輸送を昭和の初めまで「舟運」が栄えました。その名残を現在に伝える「阿武隈ライン舟下り」。長い年月をかけて刻んだ溪谷を眺めながら、船内では船頭さんの軽快な案内と和気あいあいと過ごすことができる船旅です。また、全国でも珍しい、「ナイトクルーズ」は、日中の風景とは全く違う暗闇と静寂が織りなす漆黒の阿武隈川と、途中、銀河鉄道を思わせる列車の鉄橋通過風景は夜ならではの楽しさを堪能できます。

この舟下りは、私たちが大切にしてきた時間や想いがあります。あなた発信で、この舟下りをより多くの人に知ってもらい、「船頭をやってみたい」と思う人が増えたら、これ以上に嬉しいことはありません。あなたの発信が、そんな出会いに繋がることを楽しみにしています。



【店舗スタッフからメッセージ】

古くから養蚕が盛んだった丸森町は、「猫の石碑」が日本一多く見つかっています。

そのため売店では「猫」をイメージした和菓子など、「猫」に関係する商品を数多く扱っております。その他、丸森町産「愛国米」を使った日本酒「猫姫」と「森姫」、職員が収穫から漬け作業まで丹精込めて作った手作りの「梅干し」など、地元産のお土産品を販売し町内外の物産展にも積極的に参加しております。私たちと一緒に丸森町の観光発展に向けて仕事をしてみませんか。



6.地域のオススメ情報

山の様子や鳥の鳴く声、食べ物で季節を感じることができる丸森町は、自然豊かで美味しいお米や野菜が食べられます。ご近所付き合いもあり、お野菜のおすそ分けや、たわいない会話でついつい長話なんてこともしばしば。町の中心部には、スーパーや学校、コンビニがまとまっているため、とても便利です。交通渋滞もなくノンストレスで通勤できます！

子育て中の方も安心！丸森町は、「こども全力応援宣言」を掲げ、こども・子育て家庭を応援する取組を実施しています。保育料、こども医療費、学校給食費の無償化や、こどもの成長に合わせた各種支援を行っています。

まるもりの「こども全力応援」公開中！ | 子育て・教育 | 丸森町 (town.marumori.miyagi.jp)

7.住宅情報

丸森町移住定住サポートセンターでは、空き家の賃貸・売却を希望する所有者様が物件情報を登録し、当町への移住、定住等を目的として空き家の利活用をお考えの方やお探しの方へ空き家情報を公開し紹介しています。

空き家の情報だけではなく、仕事や環境、子育て、自然、交通等、暮らし全般の情報を集めて、コンシェルジュが「まるもり暮らし」をご案内します。

ぜひお気軽にご相談ください！

【お住まいのお問い合わせ】

〒981-2103 宮城県伊具郡丸森町館矢間山田字土手下102 丸森駅舎内

TEL 0224-87-7837 / FAX 0224-87-8816

営業時間 10:00—19:00 (土曜 10:00—17:00) / 日曜、年末年始休

※日曜にご案内、ご相談をご希望の方は事前にご連絡ください。

移住サポート&ガイド - まるもり移住・定住サポートセンター じゅーぴたっ (ju-pita.com)

8.丸森の協力隊特徴

令和8年2月現在、丸森町では11名の地域おこし協力隊が働いています。

また、これまでに62人が地域おこし協力隊として丸森町に移住してきました。任期終了後の定住率はなんと78.7%！

地域おこし協力隊同士の連携も取れている町です！

●丸森町の地域おこし協力隊に関する情報が知れる参考WEBページ

丸森町で活動する地域おこし協力隊 | しごと・産業